JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画 ～業績データベースと連携したコンテンツ集め～
Author(s)	寺田，美樹
Citation	
Issue Date	2009-07-09
Type	Presentation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/8191
Rights	
Description	平成20年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）発表資料，平成21年7月9日開催

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

平成21年7月9日　平成20年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）
成果報告：リポジトリを育てる　－Fresh Reminders Session－

JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画

～業績データベースと連携したコンテンツ集め～

北陸先端科学技術大学院大学
学術情報サービス室　学術管理係　寺田　美樹

本日の内容

- 取り組みの概要
- 学術雑誌論文の収集について

  ＜リポジトリ充実計画＞

  - 業績データベースとの連携
  - コンテンツ収集方針・方法，作業手順
- まとめ，今後の計画

大学について

北陸先端科学技術大学院大学

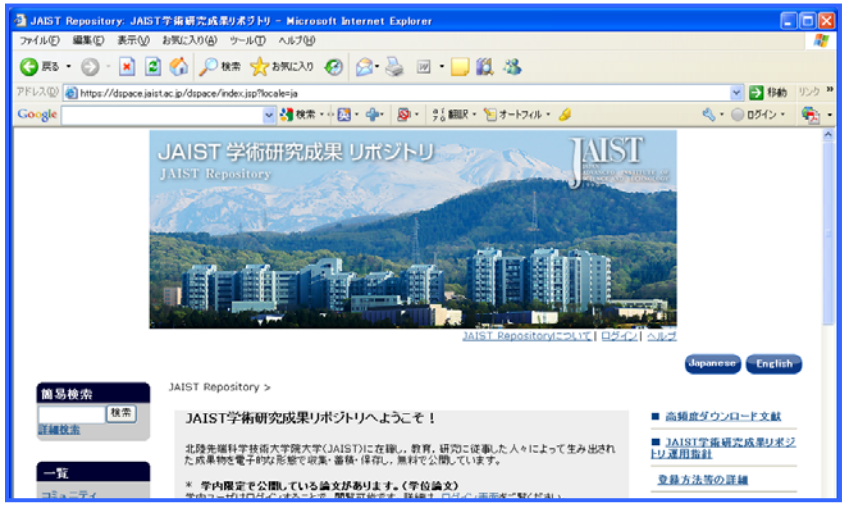
Japan Advanced Institute of Science and Technology

- 研究科：知識，情報，マテリアルサイエンス
- 学生数：835名

  博士前期課程　583名，博士後期課程　252名
- 教員数：160名

（平成21年4月1日現在）

リポジトリへの取り組みの概要



「JAIST学術研究成果リポジトリ」

https://dspace.jaist.ac.jp/

- 運用開始：平成19年5月30日
- コンテンツ公開数： 5,054件
  （平成21年3月31日現在）

＜H20年度コンテンツ収集活動＞

● 学術雑誌論文

収集方針・方法を見直し，**学内の承認を得て計画的に**作業を進めることで，**660件**の論文を登録した。

● COE研究成果

COEの各種報告書，研究論文に加え，プロジェクトの一環として電子化された研究・技術計画学会の講演要旨集（1986～2008年）についても学会の承諾を得て，**約2,600件**の論文等を登録した。

● 学位論文

平成19年度より，**論文登録は，学生がリポジトリの投稿画面から直接行い**，公開までの作業が効率的に行えるようになっている。今年度も引き続き，学生への許諾確認作業や登録手続きのサポート等を関係部署と協力して行い，論文収集に努めた。

● 学内刊行物

刊行物の**発行時に**リポジトリへの申請手続きが行えるよう，収集手順や関係書類等を整備し，積極的にリポジトリへ収集する体制を整えた。

学術雑誌論文の収集

「リポジトリ充実計画」

- 業績データベースとの連携
- 論文収集方針
- 論文収集方法
- 作業手順

「リポジトリ充実計画」

業績データベースとの連携

背景

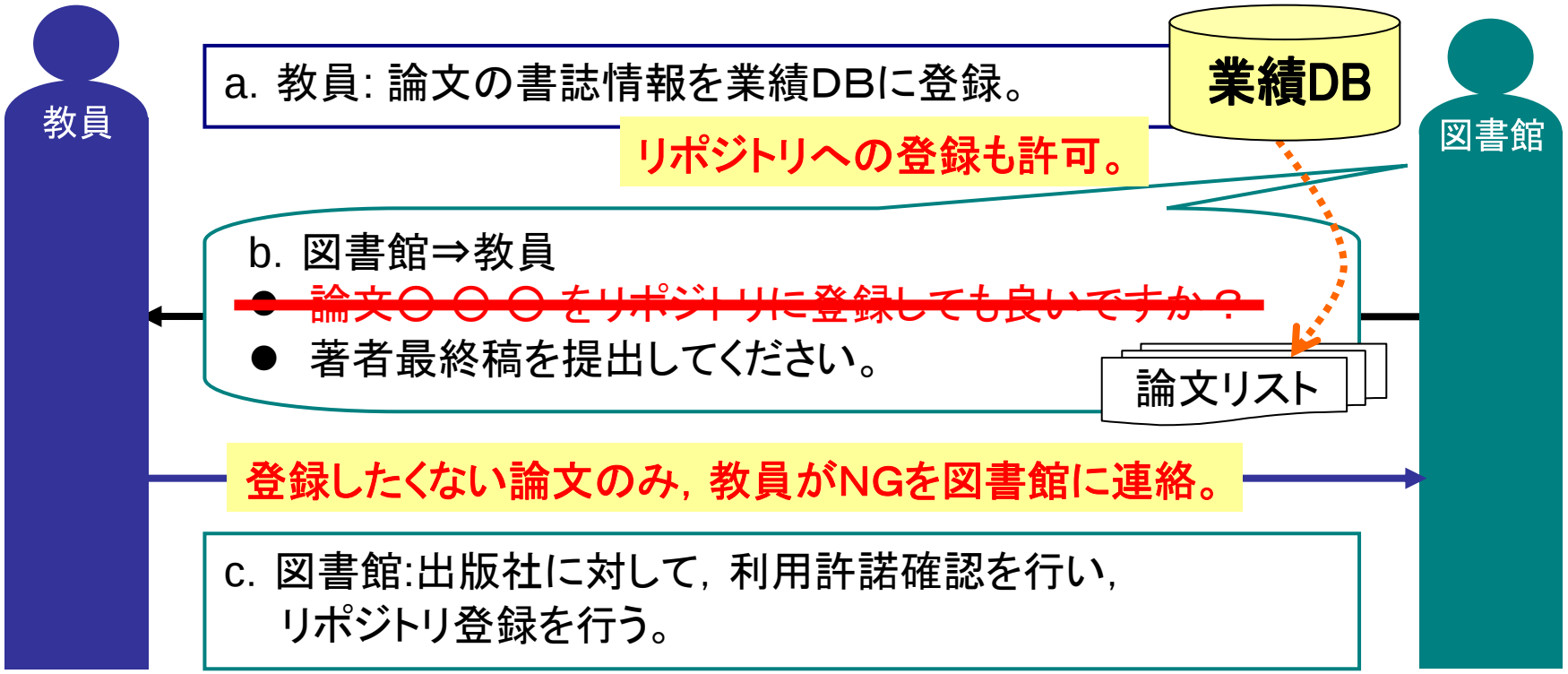
- 教員自身が，発表論文の書誌情報を入力。
- データの入力率が高い。
- 他のデータベース（Web of Science等）では，出版社が限られてしまう。

⇒　業績データベースから，発表論文の情報を得ることに決定！

「リポジトリ充実計画」

業績データベースとの連携・収集方針

業績データベースのデータ利用し，学術雑誌論文を収集する。



業績DBに登録されている論文は，教員からの申し出がない限り，
リポジトリ登録を認めるものとし，論文のリポジトリ登録を行う。

＜平成20年6月16日　教育研究評議会で承認＞

「リポジトリ充実計画」

論文収集方法 ①

出版社群（許諾条件）と年代にわけて論文を収集。

● 出版社群

出版社の著作権ポリシーの調査を行い，許諾条件に合わせ以下のとおり出版社をA，B，C群と分類。

出版社群	出版社版の登録	図書館で入手（OJ）	作業
出版社A群 AIP，APS，IEEEなど	○	○	図書館で出版社版を入手し登録。
出版社B群 信号処理学会， 日本認知科学会など	○	×	教員が出版社版を提出し登録。
出版社C群 Elsevier，Springerなど	×	×	教員が著者最終稿を提出し登録。

「リポジトリ充実計画」

論文収集方法 ②

● 年代（出版年で分類）

第1次：H18年度以前の発表論文を中心に収集

第2次：前年度（H19年度）の発表論文を中心に収集
⇒ これから毎年実施

● 作業手順

Step1
出版社群見直し
（出版社への利用許諾確認）

→

Step2
出版社A群登録

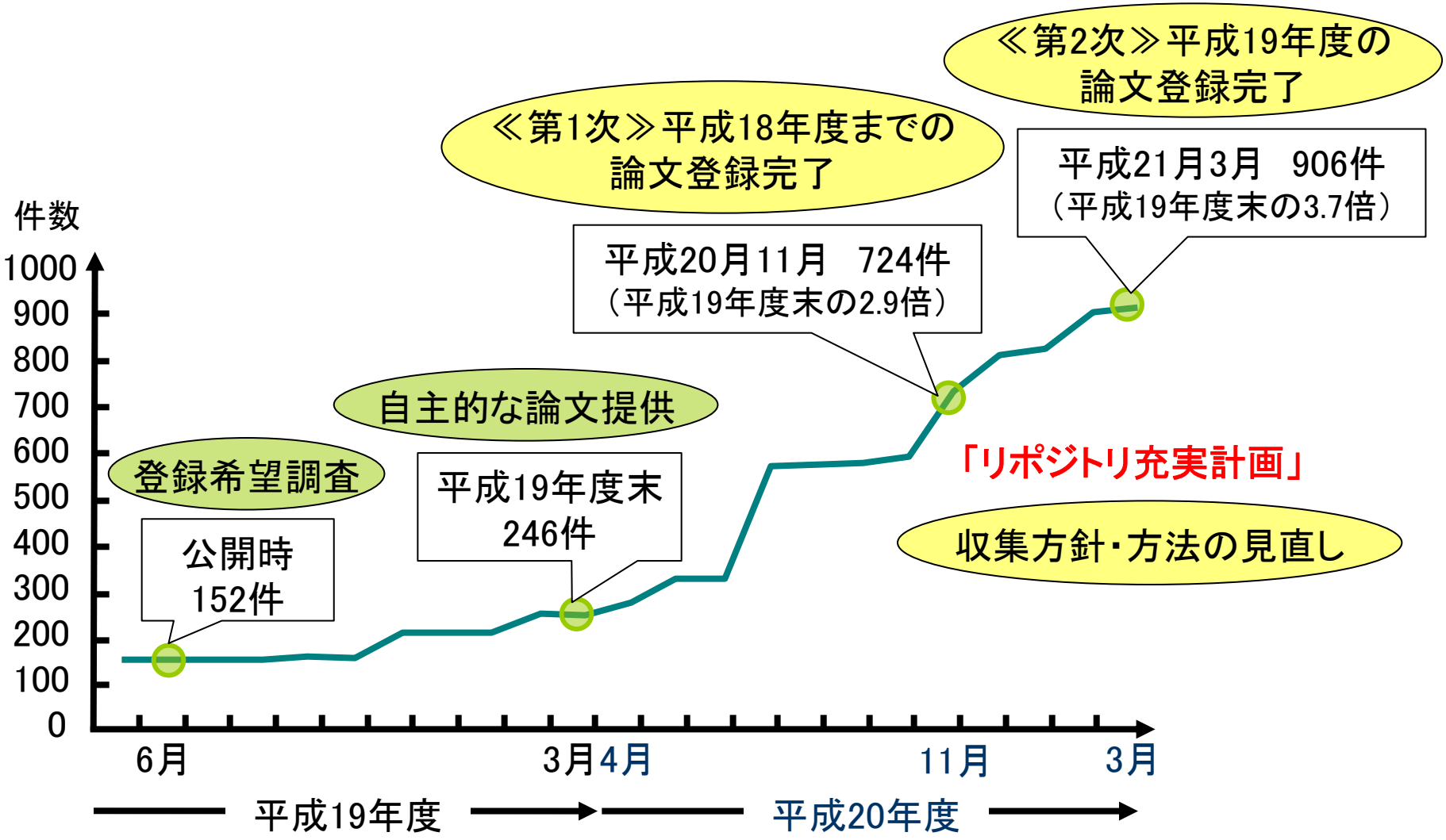
→

Step3
出版社B,C群登録

論文公開までの作業手順 （詳細）

#	業務分類	作業内容	担当		スケジュール（例：第2次論文収集）
			教員	図書館	
1	STEP 1：出版社への利用許諾確認	業績DBに前年度の業績を入力	○		～8月中旬
2		業績データ（前年度分）を入手		○	8月中旬
3		発行元の出版社／学会を調査		○	8月中～下旬
4		出版社／学会への利用許諾確認		○	9月上～10月下旬
5		出版社群リスト更新		○	10月下旬
6	STEP 2：出版社A群登録	出版社A群の登録を教員に通知		○	10月下旬
7		登録を希望しない場合、図書館に連絡	○		10月末締切
8		出版社A群のPDF入手		○	11月上旬
9		書誌情報作成		○	11月中～12月中旬
10		書誌情報、論文（PDF）登録、確認		○	12月下旬
11	STEP 3：出版社B,C群登録	出版社B,C群の教員別論文リスト作成		○	11月中～下旬
12		教員別リストを各教員に送付		○	11月下旬
13		メールで論文を提出	○		12月末締切
14		提出された原稿の確認		○	12月上～下旬
15		書誌情報作成		○	1月上旬～2月上旬
16		書誌情報、論文（PDF）登録、確認		○	2月中旬
17		登録論文リストを作成し、教員に送付		○	2月下旬

コンテンツ増加状況（学術雑誌論文）



取り組みを振り返って

コンテンツ充実以外にも

- 収集方針・方法，スケジュールを確立
- 出版社への問い合わせ実績を蓄積
- 論文を登録した教員数の増加

平成19年度末：　39人（全教員数に対する割合　約25%）
↓
平成20年度末：　113人（全教員数に対する割合　約68%）

＜教員へのアプローチ＞
リポジトリの必要性，論文登録のメリットを強調

まとめ，今後の計画

コンテンツの収集を継続。そして利用されるリポジトリに！

- 着実にコンテンツを収集
  毎年，同じスケジュールで作業
- コンテンツ収集作業の効率化
  業績入力画面にPDFアップロード機能追加（検討中）
- 論文を効果的に発信
  JAIRO，CiNii，教員個人のwebページからのアクセス増
  Googleサイトマップ登録
  業績一覧からのリンク（検討中）